

個人投資家の皆さまへ

豊田通商株式会社 会社説明会

登壇：財務部 IR室 室長 荒木 裕一

2025年 2月23日

(証券コード 8015)

Be the **Right ONE**

目次

会社概要・ビジョン

業績推移

成長戦略

基盤事業 “Core Value”

株主還元方針

(証券コード 8015)

Be the **Right ONE**

目次

会社概要・ビジョン

業績推移

成長戦略

基盤事業 “Core Value”

株主還元方針

(証券コード 8015)

豊田通商グループについて（2024年3月末時点）

設立
1948年

主要株主
トヨタ自動車
21.69%

連結従業員数
約**70,000**名

グローバル
ネットワーク
約**130**カ国・地域

連結関係会社数
（国内外合計）
約**1,000**社

2024/3期
当期利益
3,314億円

時価総額 ※
約**2.8**兆円

PBR **1.06**倍 ※
ROE **15.1**%

1株当たり配当金
93円
14期連続増配

理念とビジョン

恒久的に変化しない
世代を通じて継承すべき
最高概念

基本
理念

企業理念

人・社会・地球との共存共栄を図り、
豊かな社会づくりに貢献する
価値創造企業を目指す

基本理念を
追求・実現し続ける中で
到達すべき目標・道標

ビジョン

Global Vision



Be the Right ONE

経営環境の変化を踏まえた
事業活動指針・方針と
具体的なアクションプラン・
数値目標を含む事業戦略

中計経営計画
年度計画

Humanity

Gembality※

Beyond

豊田通商DNA

基本理念の実現やビジョンの達成に向け、
全ての豊田通商グループ役職員が共有すべき価値観・行動原則

Humanity

誠実に (Integrity)
思いやる (Empathy)
情熱をもって (Passion)

Gembality

現場に寄り添う (Live in Gemba)
現実に向き合う (Face Reality)
やりぬく (Accomplish)

Beyond

壁を超える (Beyond Borders)
共に、切り拓く (Open up
New World Together)
未来を創り出す (Create Future)

事業本部体制

数値:2024年3月期 当期利益

メタル+
(Plus)

360億円

金属分野における
大胆なPLUS(プラス)を創造

サーキュラー
エコノミー

500億円

新しい資源循環のあり方を
デザイン

サプライ
チェーン

455億円

サプライチェーンを
守り・つなぐ

モビリティ

559億円

新たなモビリティ社会に
幸せを量産

グリーン
インフラ

279億円

サステナブルな地球環境を
支える社会インフラを実現

デジタル
ソリューション

296億円

デジタルの力で
ソリューションを提供

ライフスタイル

118億円

Economy of Life*ビジネスの
推進

アフリカ

691億円

アフリカの社会課題解決と
未来の発展に貢献

*ヘルスケアや食料等、人々の日々の生活に不可欠であり、快適で健やかな未来社会の実現に貢献するビジネス

Be the **Right ONE**

目次

会社概要・ビジョン

業績推移

成長戦略

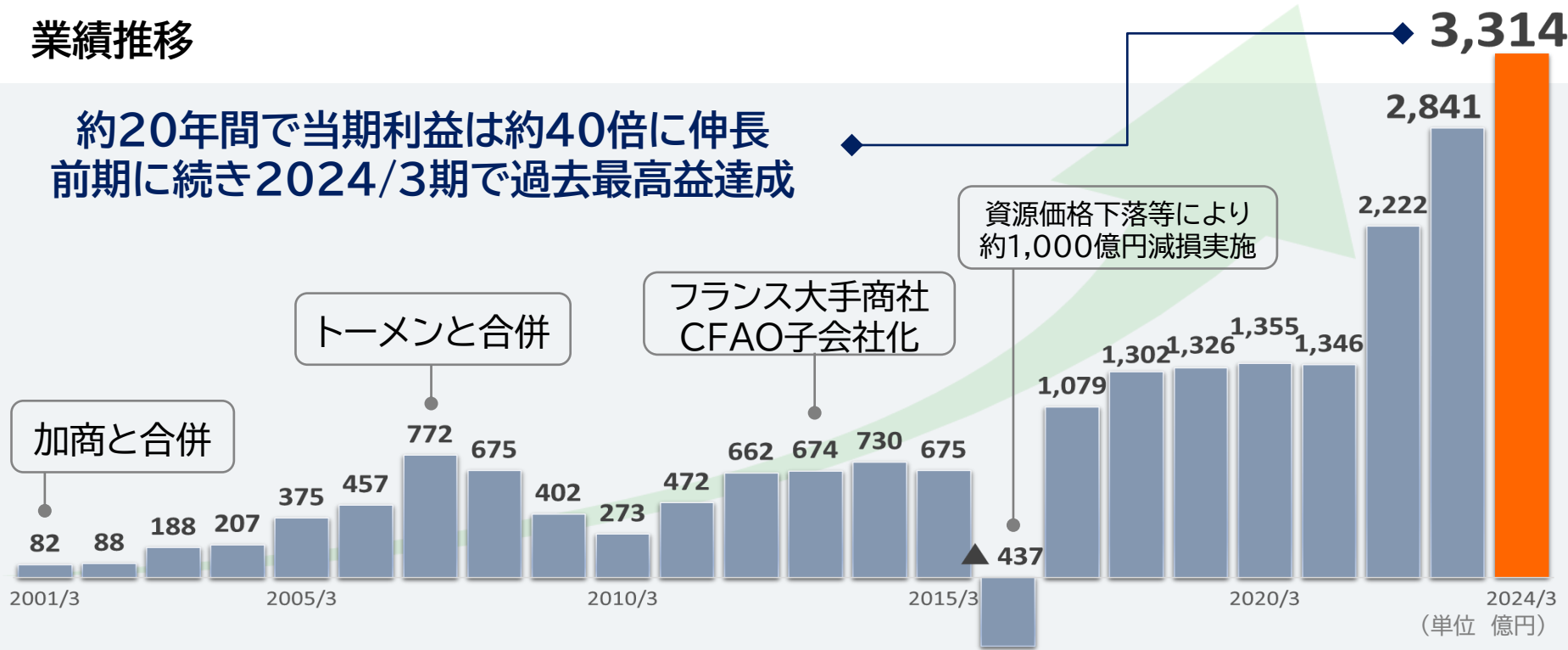
基盤事業 “Core Value”

株主還元方針

(証券コード 8015)

業績推移

約20年間で当期利益は約40倍に伸長
前期に続き2024/3期で過去最高益達成



2001/3期

2020/3期

2024/3期

約20年で…

当期利益 : 82億円

1,355億円

3,314億円

40倍

時価総額 : 1,179億円

8,957億円

2兆8,051億円※

24倍

※2025年1月末時点

Be the **Right ONE**

目次

会社概要・ビジョン

業績推移

成長戦略

基盤事業 “Core Value”

株主還元方針

(証券コード 8015)

成長戦略

7つの重点分野

ネクストモビリティ

再生可能エネルギー・
エネルギーマネジメント

アフリカ

循環型静脈

バッテリー

水素・代替燃料

Economy of Life

成長戦略実現に向けた
中期経営計画

重点分野への
投資の促進

2030年CN*目標達成
に向けた事業推進

人的資本経営
の推進

さらなる成長の足元固め
(安全・コンプライアンス)

Global Vision



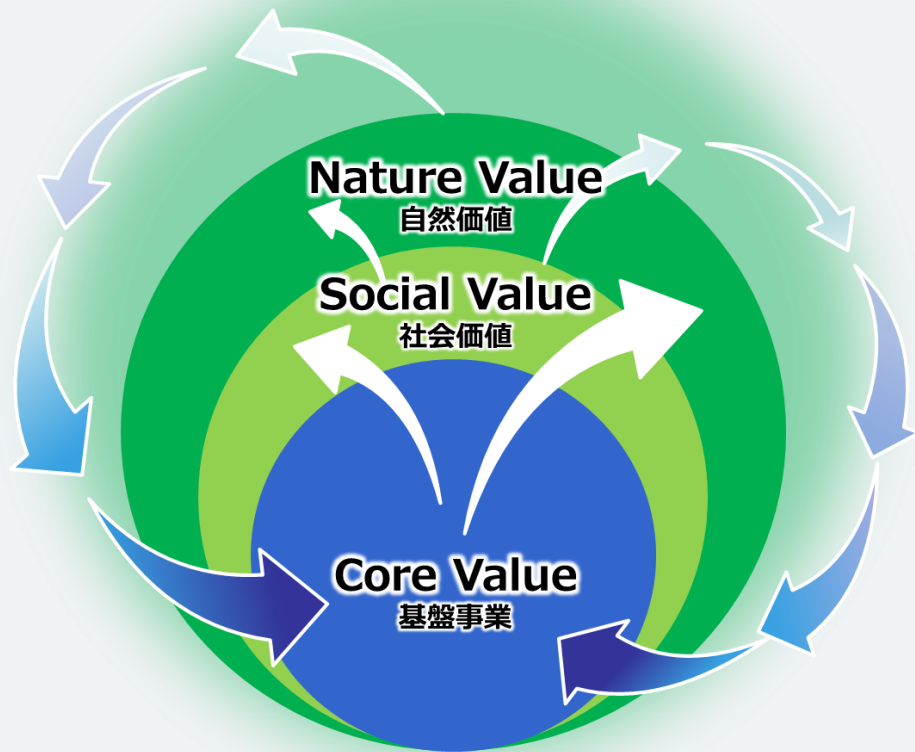
Be the **Right ONE**

長期に目指す姿

社会価値、
自然価値の提供と
経済価値を
両立させ、
より良い社会と
地球環境を
皆さまと共に
創り上げていく

* CN:カーボンニュートラル

重点分野への投資の促進 ～企業価値向上のサイクル～



Nature Value(自然価値)

持続可能な地球環境を支える事業を通じて、
長期的な価値実現

再エネ・エネマネ

水素・代替燃料

Social Value(社会価値)

社会課題解決に貢献する
事業を通じて、
顧客やコミュニティとの
関係強化

循環型静脈

バッテリー

EoL

Core Value (基盤事業)

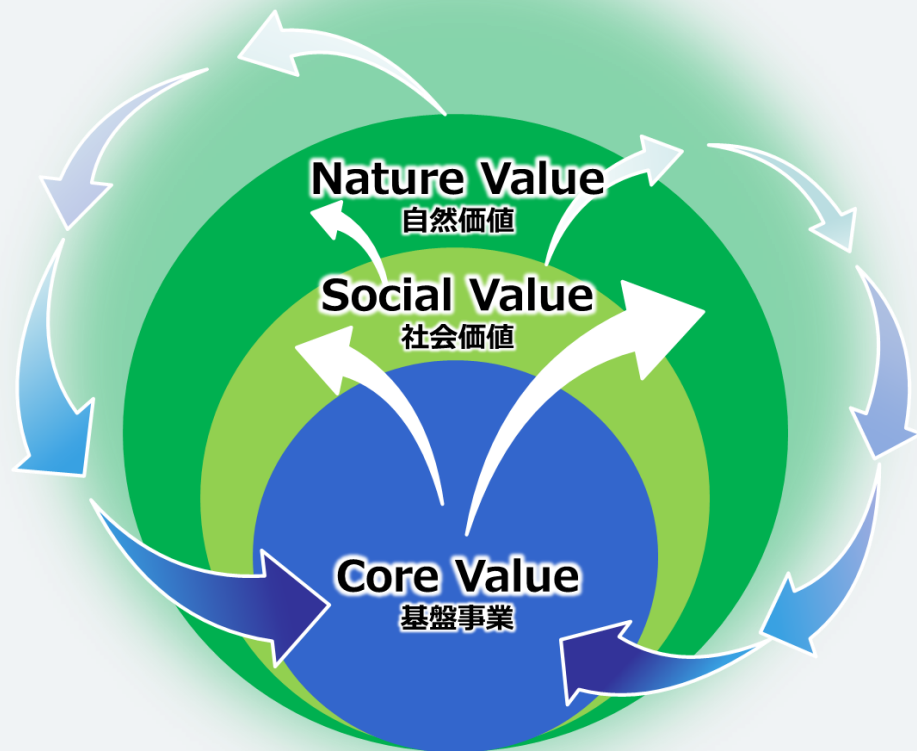
「豊通らしさ」を持つ
事業からの力強い
キャッシュ創出、
長期的な成長のコア

ネクモビ

アフリカ

基盤事業

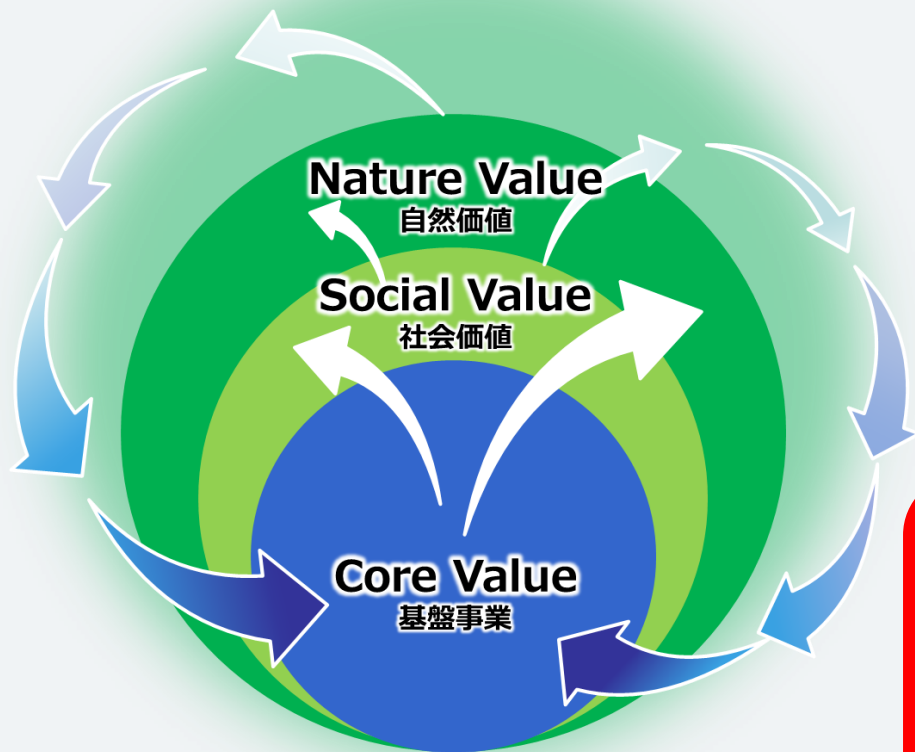
重点分野への投資の促進 ～投資リターン～



		ROIC*
Nature Value	3,000億円～	5%～
Social Value	3,000億円～	10%～
Core Value	4,000億円～	15%～

* Return On Invested Capitalの略称。投下資本利益率と訳される。
債権者から調達したお金に対して、どれだけ利益を出しているかを示す

重点分野への投資の促進



Nature Value(自然価値)

持続可能な地球環境を支える事業を通じて、
長期的な価値実現

再エネ・エネマネ

水素・代替燃料

Social Value(社会価値)

社会課題解決に貢献する
事業を通じて、
顧客やコミュニティとの
関係強化

循環型静脈

バッテリー

EoL

Core Value (基盤事業)

「豊通らしさ」を持つ
事業からの力強い
キャッシュ創出、
長期的な成長のコア

ネクモビ

アフリカ

基盤事業

Be the **Right ONE**

目次

会社概要・ビジョン

業績推移

成長戦略

基盤事業 “Core Value”

株主還元方針

(証券コード 8015)

モビリティ

- 1960年代 輸出事業を開始
- 1997年 トヨタ自動車より業務移管開始・拡大
- 1990年代後半から代理店買収とディーラー事業に着手・面展開
さらに自動車販売のバリューチェーン最大化を推進



1960～1980年代

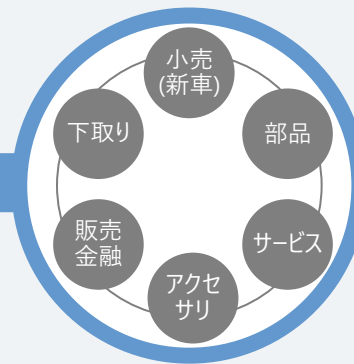
トレーディングビジネス
展開

1990年代

業務移管開始
代理店展開

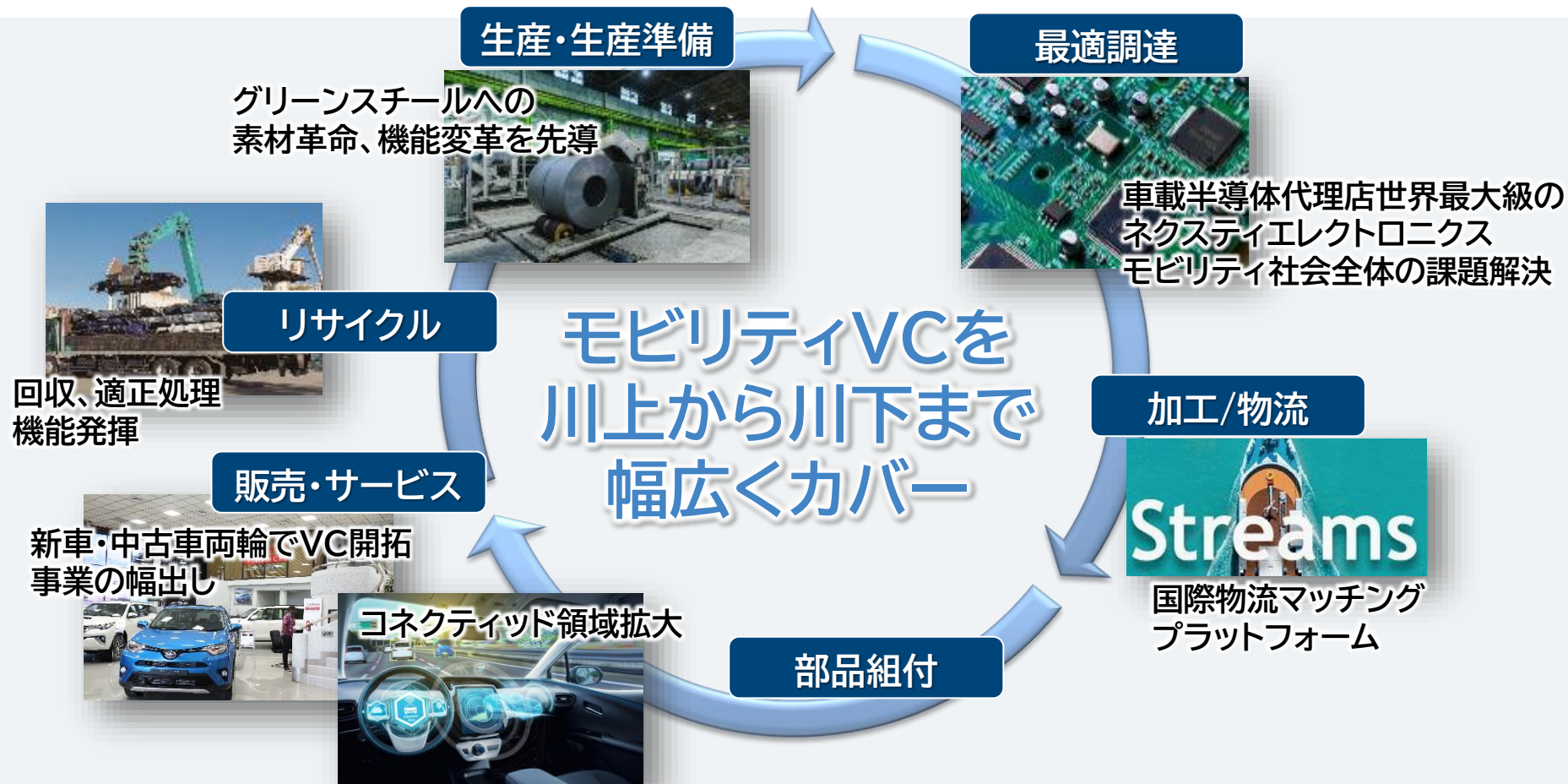
2000年代

ディーラー展開



2010年代～

モビリティバリューチェーンの
構築・拡大



世界35カ国の物流ネットワークで自動車OEM、部品メーカーの生産をサポート





* Knock Down
製品を部品または半完成品の状態で輸出し
海外の工場で組み立てる生産・物流の方式



中古車
オンライン販売



国内中古車販売
(O-RUSH)



ディーラー事業



アクセサリ販売

モビリティ

- モビリティ本部では新興国を中心に97カ国で事業展開、このうち48カ国、113社に直接投資
- 日本に加え、米州(米国・アルゼンチン)、アジア(シンガポール)、オセアニア(豪)、中国に4地域統括拠点を展開



アフリカ

WITH AFRICA FOR AFRICA



100 years

170 years history in Africa

54

展開国数

174

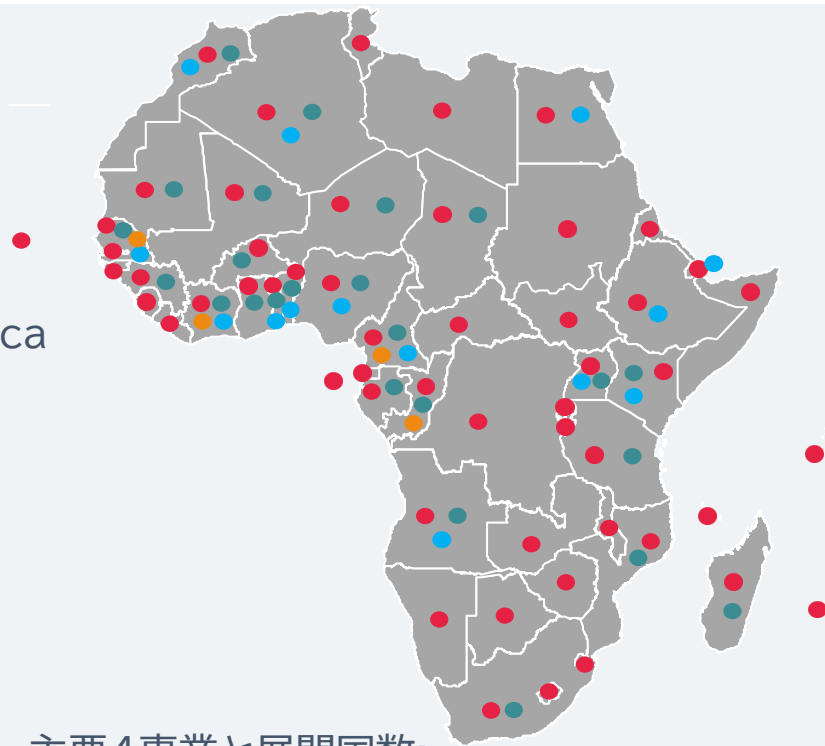
事業体

23,000

従業員数
(臨時雇用者数を含む)

1.6

兆円の売上 (24年3月期)



主要4事業と展開国数:

モビリティ	54	インフラ	14
ヘルスケア	24	コンシューマー	4

アフリカ

生産事業
(川上)



輸入・卸売
・物流
(川中)

モビリティ

インフラ

ヘルスケア

コンシューマー

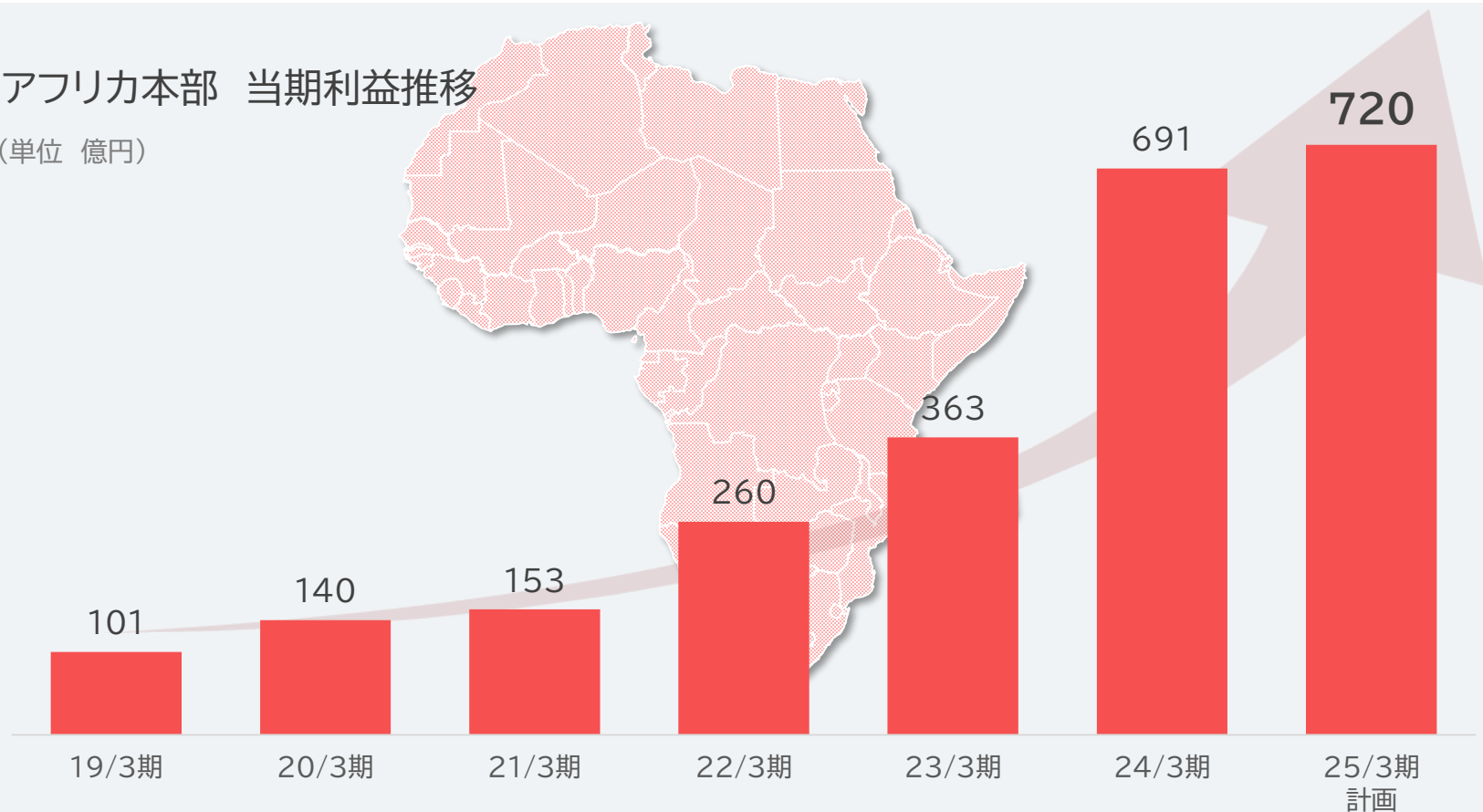
リテール事業
(川下)



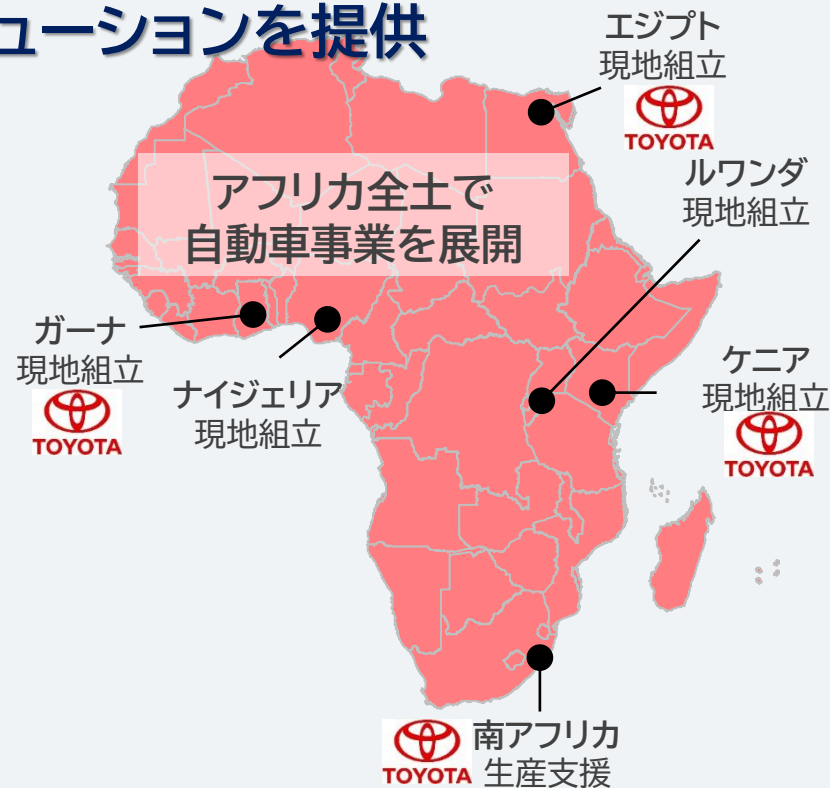
アフリカ

アフリカ本部 当期利益推移

(単位 億円)



アフリカ全土のネットワークを活かし より安全でクリーンなモビリティソリューションを提供

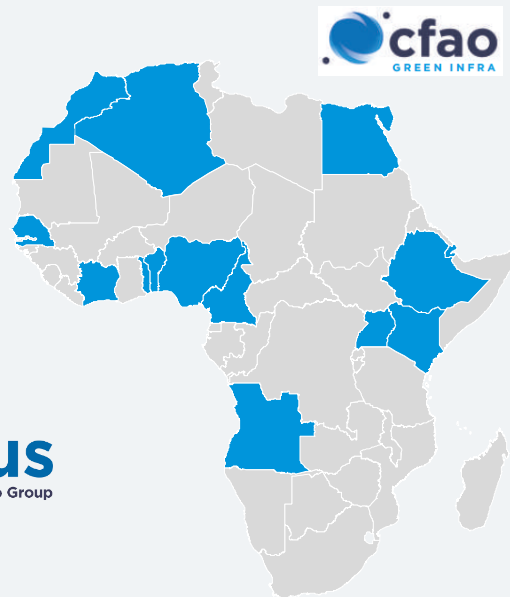


グリーンで持続可能な社会発展に貢献

企業向け

産業および商業顧客向けソリューションサービスの提供

- 再生エネルギー、ソリューション、エレベーター、
冷却システム、空調



政府・自治体等向け

再生可能エネルギーIPP(独立系発電事業者)



インフラEPC(設計、調達、建設)

IPP



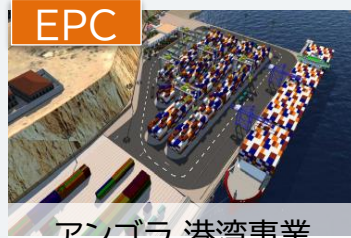
エジプト 風力発電

EPC



ケニア 地熱発電

EPC



アンゴラ 港湾事業

EPC



ケニア 港湾事業

EPC



セネガル 海水淡水化

高品質な医薬品へのアクセス向上に貢献



ワクチン保冷輸送車



モダンリテールの発展に貢献 高品質な消費財を手頃な価格で提供



ショッピングモール



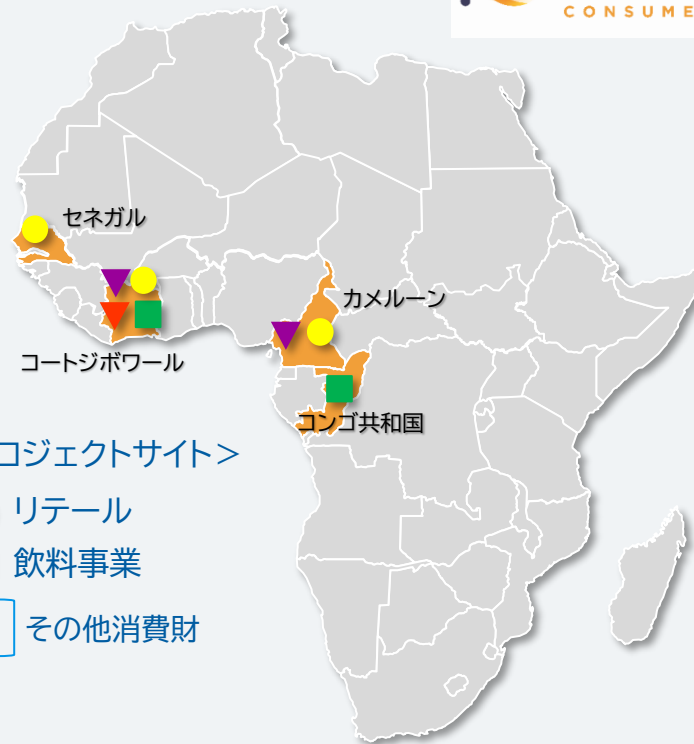
スーパーマーケット



飲料製造・卸売



倉庫型店舗



<プロジェクトサイト>

- リテール
- 飲料事業
- ▼ その他消費財

Be the **Right ONE**

目次

会社概要・ビジョン

業績推移

成長戦略

基盤事業 “Core Value”

株主還元方針

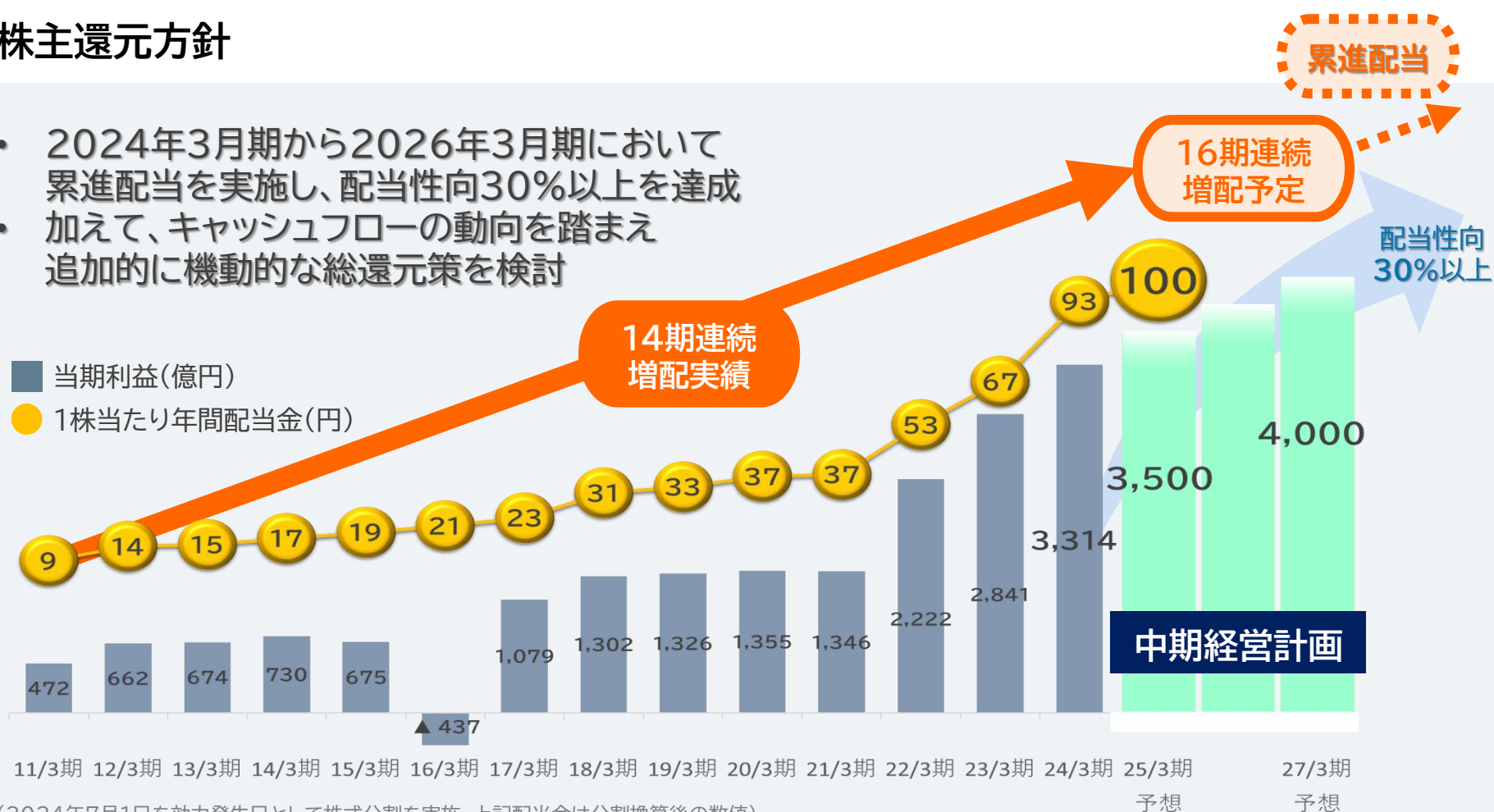
(証券コード 8015)

株主還元方針

- 2024年3月期から2026年3月期において累進配当を実施し、配当性向30%以上を達成
- 加えて、キャッシュフローの動向を踏まえ追加的に機動的な総還元策を検討

■ 当期利益(億円)

● 1株当たり年間配当金(円)



(2024年7月1日を効力発生日として株式分割を実施。上記配当金は分割換算後の数値)

キャッシュアロケーション

財務基本方針

ネットDER 1.0倍以内の管理

※
RA/RB 1.0未満の管理

中期経営計画(25/3期～27/3期) 3年間累計 キャッシュアロケーション



※RA/RB: リスク総量が経営体力の範囲内に収まっているか見る指標
RA=リスクアセット(不測の事態が起こった際に発生し得る最大予想損失)
RB=リスクバッファ(当社の財務的な企業体力[資本合計-非支配持分+貸倒引当金(流動)-のれん])

ご清聴ありがとうございました

Be the **Right ONE**



当社ホームページも、ぜひご覧ください
<https://www.toyota-tsusho.com/>

個人投資家向け情報 <https://www.toyota-tsusho.com/ir/individual/>

統合レポート2024
発行しております

投資家情報

個人投資家の皆様へ

個人株主・投資家の皆様に豊田通商をより深くご理解いただけるよう、当社の戦略、業績、配当方針についてわかりやすくご紹介します。

豊田通商について

当社の成長戦略

グループ業績

配当方針

もっと詳しく
知りたい方へ





Be the **Right ONE**

豊田通商株式会社

財務部 IR室

E-mail

ttc_ir@pp.toyota-tsusho.com

(東京本社)

Tel

03-4306-8201

- ◆ 当プレゼンテーション資料は、豊田通商株式会社及びそのグループ会社の戦略・経営計画など、歴史的事実でない「将来に関する見通し」を含んでいます。係る将来に関する見通しは、現時点において入手可能な期待・見積り・予想に基づいており、その性質上、これらの期待・見積り・予想はリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果、財務内容等は、係る将来に関する見通しにおいて明示的または黙示的に示される情報と大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。当社は、係る将来に関する見通しについて情報を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。
- ◆ 当プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売却、販売、勧誘を目的とするものではありません。投資・その他のご判断にあたり、当資料の内容に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 当プレゼンテーション資料の掲載内容(画像、文章等)の全てについて、無断で複製、転載、転用、改変等の二次利用を行うことを禁止します。